

即時リリース

2020年6月23日

連絡先：

庄井美章 Yoshiaki Shoi

Tel: + 81 (0)3-6721-8503

Email: Yoshiaki.shoi@asam.net

www.asam.net

プレスリリース

ASAM は、日本で完全に開発された最初の標準規格をリリース

ASAM e.V.(オートメーションおよび計測システムの標準化団体) は、トヨタ、ホンダ、日野などの自動車大手とそのサプライヤーによって日本で開発された ASAM HMS (HEX File Management System) を、欧州以外で完全に開発した最初の標準規格のリリースを発表しました。これは、ASAM が国際的に重要性と影響力を増していることを証明しています。ASAM HMS は、複雑で相互接続された電子制御装置 (EUS) の開発およびテストに使用される、いわゆる HEX ファイルにメタデータを関連付けるインターフェイスを記述します。特に、高度に自動化された自動運転機能の開発に適合しています。

オーヘンキルヒェン, ドイツ – 2020年6月23日, – ASAM は、ヨーロッパ以外で完全に開発された最初の標準のリリースを発表しています。これは、本標準化団体の国際的な範囲と重要性を示しています。

ASAM HMS(HEX File Management System)は、自動車の開発とテストを容易にすることを目的として、日本の OEM およびツールベンダーによって規格化されました。EUS の複雑さと相互接続、特に高度な運転支援システム(ADAS)と自動運転の分野では、厳密なデータとファイル管理が必要です。ASAM HMS を使用すると、異なるソースの重要なメタデータを、ECU の開発およびテストに組み込まれるファイル (いわゆる HEX ファイル) に関連付けることができます。これは体系的にデータベース化され、保存され、検索と取得が容易です。これにより、間違ったテスト結果や、検出に時間がかかるエラーを回避できます。日本

の専門家グループは、ASAM HMS が貴重な開発時間とコストを低減化するのに役立つことを期待しています。

ASAM 規格は推奨であり、規制の枠組みに影響を与えるものではありません。その目的は、サプライヤーとクライアント間のデータ交換を容易にし、分散した開発を可能にすることです。ASAM によって標準化されたインターフェイスにより、ユーザーはさまざまなサプライヤーからツールを選択し、相互接続できます。したがって、ASAM 規格はプロセスを円滑にし、コストを削減し、品質を向上させます。ASAM 規格は非競合領域に限られており、その適用は任意です。

2012 年以降、ASAM の日本でのメンバー数は着実に増加しています。40 社以上のメンバー企業(トヨタ、ホンダ、日野、マツダ、日産、スバル、ヤマハなどの大手メーカーを含む)を有する日本は、今日ではドイツに次ぐ第 2 位のメンバーグループです。日本における ASAM 規格の適用は、それ以来倍増しています。日本のメンバーは、標準規格の開発にますます参加しています。ASAM HMS では、日本で完全に開発された最初の標準規格が市場に投入されつつある状況になっています。次の日本の標準はすでに開発中です。

「日本企業が私たちの組織に大きな信頼を抱いていることをとても誇りに思っています。すでに日本の会員は、いくつかの ASAM 規格に大きく貢献してきました。ASAM HMS は日本で完全に開発された最初の標準です。ASAM のウェブサイトを通じて国際的に配布されます」と、ASAM e.V.のマネージングディレクターであるクラウス・エステンフェルド博士は述べています。

ASAM e.V. について

ASAM e.V.(オートメーションおよび計測システムの標準化団体) は、自動車業界における標準化を積極的に推進しています。世界中の 300 以上の加盟団体と共に、電子制御ユニット(ECU)の開発とテスト、車両全体の検証に使用するツールのインタフェースとデータモデ

ルを定義する標準を策定しています。ASAM のポートフォリオは現在、世界の自動車開発におけるツールおよびツールチェーンに適用される 3 つの標準で構成されています。

(www.asam.net)